



『東北圏だより』



協議会構成機関からの情報—長岡市—

【長岡市総合計画後期基本計画の策定について】

長岡市では、将来を見据えたまちづくりの指針として長岡市総合計画を平成18年度に策定しました。

この計画は、市政運営の基本方針である「基本構想」（10年間）と、構想実現のための施策内容を示す「基本計画」（前期5年間・後期5年間）、施策に対応した具体的事業を示す「実施計画」により構成されます。

平成22年度で前期基本計画の期間が終了するため、平成23年度を初年度とする5年間の後期基本計画の策定を進めています。これまで、市民参加による策定委員会等の開催やまちづくりアンケートの実施などを経ながら、本市のまちづくりについて検討をしてきました。

後期基本計画では、後期5年間の具体的な施策展開の指針として、「市民協働による活力あるまちづくり」「地域の個性が輝く環境共生のまちづくり」「40万人都市構想の推進」「世界を見据えた地域経済・文化の発信」の4つの基本方針を定めています。特に、世界を見据えた地域経済・文化の発信では、成長著しい北東アジア・ロシア極東地域を含む環日本海圏域における、新たな経済交流を視野に入れることや、本市の宝である米百俵の精神や長岡花火など、世界に誇れるさまざまな資源を国内のみならず、世界に向け発信するシティプロモーションを戦略的に推進し、長岡の都市ブランドの向上を図ることを掲げています。

グローバル化、少子高齢化などがますます進む中、地域が持続的な発展を続けていくためには、戦略的な都市・経済連携を進めていくことが重要であります。今後、各地域との連携を進めていくなど、東北圏広域地方計画の推進に寄与する施策を積極的に展開していきたいと考えています。



▲「アリーナ」、「屋根付き広場（ナカドマ）」、「市役所」が一体となった市民交流の拠点、シティホールプラザ『アオーレ長岡』（平成24年1月オープン予定）



広域地方計画に係わる動き

○第16回東北圏広域地方計画協議会検討会議幹事会開催報告

2月24日に今年度2回目の幹事会が開催され、計画の平成22年度フォローアップに向けた作業の確認と平成23年度の活動予定などを主題として議論しました。

今回フォローアップにあたり、経済効果などを把握するため新たな参考指標について、算出に必要な産業連関表の出典を如何にするべきかなど積極的な提案もありこれから年度末に向けて具体的作業を行っていくことを確認しました。

また平成23年度シンポジウムの開催地と時期について候補となった県と調整を図ること、そして新しい取組となる「東北圏広域地方計画取組発表会（仮称）」の開催の合意が得られたほか、協議会運営要領の改正について提案されました。要領改正については次回幹事会で承認を目指します。

フォローアップ作業を始め、各取組とも今後構成機関のみなさまにご協力をいただきながら進めていきます。



▲第16回幹事会の様子

○取組推進P T（プロジェクトチーム）全体会議の開催報告

2月25日、仙台第4合同庁舎会議室において、第3回取組推進P T（プロジェクトチーム）全体会議が一般公開で開催されました。

はじめに、平成23年2月現在で設立済である9つの取組推進P Tの主査機関から、平成22年度の検討状況及び平成23年度の取組予定が、また、設立を目指して準備中の取組推進P Tの主査機関から、今後の設立に向けた考え方、スケジュール等が報告されました。今年度のP Tの設置状況は昨年5月に東北森林管理局による「低炭素社会構築P T」が設立されたのをはじめ、東北地方環境事務所では「循環型社会づくりの推進P T」として、既存組織の「地域循環圏東北協議会」を位置付けました。また、既存の組織を活用した取組も多くなってきており、3月には東北経済産業局の「イノベーション創出会議」を「次世代自動車関連産業集積拠点形成P T」に位置付けるべく準備中との報告もなされました。



▲P T全体会議の様子

意見交換では、「連携しなければできなかったこと、連携したからできたことに焦点をあてるべき」、「広域連携の取組において重要な役割を担っている各自治体の方々から、広域連携プロジェクトの取組について次回ご紹介いただけるとありがたい」などの意見が出されました。

次回の取組推進P T全体会議は5月末～6月初旬頃の開催予定で、平成23年度の検討内容等について意見交換を行う予定です。

取組推進P T（プロジェクトチーム）の動き

○第4回『「新たな公」コンソーシアム・シンクタンクの創設』取組推進P T会議

2月4日に、第4回「新たな公」コンソーシアム・シンクタンクの創設取組推進P T会議が開催されました。

会議では、各県の地域づくり支援の取組として、集落力向上支援事業（宮城県）、秋田を引っ張る「地域活力プロデューサー」育成塾（秋田県）、地域コミュニティ再生促進事業（山形県）の3事例について構成機関の方々から報告をいただきました。

その後、主査機関より各県会議（車座集会）の報告と中間支援システムの構築に向けた取組についての中間報告を行い、中間支援組織の活動実態・あり方・役割分担について、また、東北圏における「新しい公共」による地域づくりについての課題解決に向けた方向性などを中心に意見交換を行いました。



▲第4回P T会議の様子

出席者からは「各県毎の中間支援の取組状況を整理する場合は、NPO団体による支援も地域への直接的な支援も分けせず、それらの取組が空間的にどのように分布しているのか、立体的に整理する必要がある。」、「企業等については、現在の経済情勢において、資金拠出の検討は非常に難しいのではないか。」等といった意見が出されました。

今後は、本P T会議の意見と中間支援組織へのヒアリング結果を踏まえ、最終報告(案)のとりまとめ

を行い、次回（第5回PT）会議において報告し、内容についての合意形成を図りたいと考えております。

○第2回東北発コンパクトシティPT会議

東北圏広域地方計画の広域連携プロジェクトである「都市と農山漁村の連携・共生による持続可能な地域構造形成プロジェクト」を推進するため、横手市や長岡市などのモデル都市をケーススタディとした各種検討や、モデル都市の取組状況、並びに今後の進め方等について、PT構成機関の他、アドバイザーである学識経験者を交えた、東北発コンパクトシティPT会議（主査機関：東北地方整備局）が平成23年2月3日に開催されました。

モデル都市をケーススタディとした各種検討では、東北発コンパクトシティの効果をより分かり易く表現するための定量的な試算方法について、人口動向、経済、社会等の各要素の因果関係と時間軸を踏まえ、東北発コンパクトシティ施策実施の有無による将来人口密度や住民一人当たりの行政コストの変化等について試算した結果を報告しました。これに対し各構成機関やアドバイザーから「定量的な分析は非常に分かり易い」と一定の評価をいただいたものの「都市部の分析だけでなく、都市と農山漁村といった地域間連携に関する分析も必要」、「住民同士の絆やコミュニティの存在等、定量的な把握が困難な要素について定性的な分析も必要」等の意見があり、今後も効果の「見える化」を実施することになりました。その後、モデル都市である横手市と長岡市から今年度の取組状況に関して報告していただき、東北町からは「比較的小規模な自治体でも土地利用コントロールにより、今以上に小さな集落を増やさないように出来る可能性があり、参考としたい」との意見がありました。

↓PT会議の詳細については、こちらをご覧ください

<http://www.thr.mlit.go.jp/compact-city/contents/projectteam/index.html>



▲東北発コンパクトシティPT会議

第1回歴史・伝統文化の保存・継承における専門家会議の開催報告

1月31日、東北大学において第1回歴史・伝統文化の保存・継承における専門家会議を開催しました。

東北圏広域地方計画の広域連携プロジェクトの1つとして「歴史・伝統文化、自然環境の保全・継承プロジェクト」の取組が求められているため、今般、埋もれている優れた歴史・伝統文化等の地域資源を再発見し、客観的な評価に基づく、市民との協働による保存・利活用が実現できる仕組みを検討することを目的として、東北大学と東北地方整備局が連携し、「歴史・伝統文化等地域資源の再発見による地域活性化に関する調査」を実施することとなりました。調査・検討にあつ



▲専門家会議の様子

ては、行政と専門家で構成する会議を開催し進めていくこととしており、今回が、第1回目です。

会議では、「地域資源の発掘・整理」「地域資源の活用事例収集・整理」「地域資源活用モデル地区の基礎資料作成」などについて意見交換が行われました。

今後は、3月9日に第2回の専門家会議を開催し、検討を重ねる予定です。

編集後記

今年度もあと1ヶ月を切ってしまいました。先日、平成22年度フォローアップ作業の依頼をさせていただいたところです。何かとお忙しい時期ではございますが、構成機関のみなさまよろしくお願いたします。

前回のフォローアップ結果を見て思ったことですが、報告に民間の取組が少ない感じがいたしました。これからは民間による取組についても、広く拾っていきたいと考えています。

『東北圏だより』に掲載する広域地方計画に関連する情報をお寄せ下さい。また、『東北圏だより』へのご質問、ご意見、ご要望等についても結構です。お気軽に次のアドレスまでメールでお寄せ下さい。メールアドレス：kou-suishin2@thr.mlit.go.jp